

### 第3回 塩竈市水道事業基本計画検討委員会の概要

日 時 令和3年10月6日（水） 14：00～15：15  
場 所 塩竈市水道部2階大会議室  
出席委員 西村委員長、嶺岸副委員長、小林委員、鈴木（洋）委員、東委員、内海委員、  
鈴木（幸）委員、菊田委員、千坂委員  
塩 竈 市 水道部長、水道部次長、水道部業務課長  
事 務 局 水道部業務課企画総務係

#### 1. 開会

#### 2. 委員長挨拶

○第二回委員会は急きょ参集での開催が中止となり、持ち回りでの開催となった。今回はこうして皆さんにお会いして開催ができ、嬉しく思う。

○前回の委員会の議事録を拝見したが、各委員の貴重な意見・質問をいただき有意義なものであったと感じている。

○今日は事務局より基本計画の骨子案が示されており、各委員それぞれの立場から忌憚のない意見をいただければと思う。

#### 3. 議事概要

事務局から資料に基づき説明。その後質疑応答。

##### （1）塩竈市水道事業基本計画（令和4年～令和13年度）骨子（案）

（委員）梅の宮浄水場の更新について、どのような方針で進めているのか。

（事務局）塩竈市の梅の宮浄水場の更新と仙台市の浄水場の更新について、それぞれが単独での更新ではなく、共同で新しい浄水場を整備していく案をこの10年の中でスタートする。

（委員）補助金の問題があり、仙台市と塩竈市だけではなく、二市三町が共同で取り組む姿勢が大事だと思う。合併することにより都市型の料金体系になる。

（事務局）将来の人口減少、水需要減少に対しどのように水道施設を維持していくかは、大きな器、広域で考えるべきという意見だと思う。宮城県で開催している勉強会を継続していきながら、将来について相談・協議を行っていきたい。

（委員）二市三町は合併の方向で進んでいくということか。

（事務局）二市三町は話し合いのスタートラインに立ったところであり、今後どのような連携ができるか話し合ってもらいたい。

（委員）これから10年、計画のなかでは50年、100年という話もでていた。そのような観点では広域化は避けられない、重要な点でするので議論を進めていただき、基本計画にも是非「広域化」というようなキーワードを使っていたいただければと思う。

(委員) 前回、浦戸諸島ではスマートメーターを使用しているという話があったが、塩竈市内においても、それぞれの家庭でスマートメーターの導入をすることがスケールメリットの面でもよいと思う。

(事務局) スマートメーターの導入は浦戸全島ではなく朴島の一部にてテスト実施をしている。定住促進課、健康福祉部と連携している。スマートメーターの有効性、費用面をみながら、今後進めてまいりたい。

(委員) 水道事業を越えて全庁での問題を吸い上げて実施していただければと思う。

(委員) スマートメーター、新しい技術の話が出たが資料の施策体系のなかに明確に書いた方が分かりやすいのではないかと。安く運営していくために新しい技術を取り入れることは必要だと考えるので、明確に書いていただくと良いと思う。また、広域化について、来年度に県で広域化推進プランというものをつくる。今回の基本計画には間に合わないが県がつくるプランを見据えて事業を展開していくというような記載があるとありがたい。

(委員) 基本的なバックアップ体制とアセットマネジメントについて詳しく聞きたい

(事務局) バックアップ体制としては災害が起こったときに水の供給を滞らせないため、塩竈市では主要の梅の宮浄水場のほかに県営の仙南仙塩広域水道からも水をつくって両方から市内に水を送っている。片方の水が滞ったときに対応できるようにしている。また緊急時に他市町村や日本水道協会に加盟している事業者と給水等の応援体制を構築している。今はこのような方策だが、近年多発している災害に対応するために他の対策も見据えていきたい。

アセットマネジメントは日本語で訳すと資産管理となる。水道管や浄水場などの資産があるが、これらは更新が必要になる。何年後にどの更新が必要でどのくらい費用がかかるというのが、一時期に更新するのではなく平準化し、財政運営に支障がでないように計画する。考え方の一つとしてアセットマネジメントを取り入れている。

(委員) 3 ページで安全でおいしい水を基本理念に掲げているが、おいしい水とは誰にとって、どのように感じるとおいしいのか、抽象的なものなので何を指しているのか伺いたい。

また、『基本目標で適切な浄水処理で安心な水を保持』と記載があるが、浄水場を仙台市と共同になる中で塩竈市が主体的な行為として関わられるのかを伺いたい。

(事務局) コロナの影響でここ2年は実施できていないが、市民まつりでできき水を実施している。その際7割くらいはおいしいと回答をいただいている。3割の方は水道水を普段飲まず、なじまないというのがアンケートで分かっている。また、山奥の大倉ダムから河川取水しており、概念的な部分ではあるがおいしい水という言葉を使わせていただいている。

適切な浄水処理については、水利権を塩竈市分で保有している。仙台市に浄水委託するのではなく、あくまで共同で浄水するというもので、塩竈市分の水については、主体的に仙台市とお互い同等に話し合いを進めていきたい。

(委員) 安全でおいしい水を理念に掲げ具体的にどう目指すのか、どう評価するかというの

は難しいが、是非頑張っていたいただければと思う。水道水は危険だとかまずいというような風評被害がある。授業できき水をするが、水道水がおいしいという話ができる。ただ、塩素に敏感な学生は水道水がすぐわかる。塩素が残留していなければ水道水ではないが、おいしいかどうかの一つとしては塩素が多く残留しないようにしっかりと浄水処理をすることであり、仙台市との共同化後も、今までと同じようにしっかりやっていただくのがいいと思う。

(委員) おいしいというのは塩竈に越してくる前から聞いていた。ミネラルウォーターをとっていたが少し控えるようにし、水道水を飲むようにしている。

(委員) 水道料金の在り方が気になる。浄水場の更新などお金がかかるが、この 10 年でどのくらい上がるのか。

(事務局) 人口減少もあり、アセットマネジメントで平準化などといっても、料金の上昇については将来的には皆さまのご意見をいただきながら検討していかなければと考えている。今の料金のままというのもなかなか難しいかと思うが、いつまで今のままかも明確には言えないが、上がる可能性は否定できないと思っている。

(委員) これまでも努力はされていると思うが、これからさらに厳しい状況が続くと思う。中長期的な見通しやその中で、料金を上げざるを得ない場合はなぜ上げなければならないか、説明責任を果たすことが重要、徹底的な説明を行えば市民の方々も理解して頂けると思うので、時間をかけて説明を行えるようなスケジュールをつくっていただければと思う。

(委員) これまでの 10 年間で何ができて、何ができていないか伺いたい。

(事務局) 第一回検討委員会の中でも若干説明したが、例えば、計画のなかで耐震化率を 57.5%以上確保することを目標とし、令和 2 年度には 58.1%まで耐震化を進められた。今回策定する基本計画のなかでも現行基本計画の総括で何が達成でき、何が達成できなかったか表したいと考えている。さらに、新たな指標の設定や、現行の指標をもう少し上の目標とするなどを検討し、また 10 年後に達成状況を確認、ローリングしながら行ってきたい。

(委員) 達成できたこと、できなかったことを踏まえて十分達成はできたことは継続、達成できなかったことはより頑張ることとし、基本計画を 10 年ごとに繋がっていることがわかるようにすると良いと思う

(委員) ニュースで水道管が破裂し断水している地域があると放映されていた。全国でも老朽化が進み、水道料金が上がるのは施設の更新があり、仕方がないとは思いますが料金が莫大に上がることや、将来の負担とならないよう少しずつ検討していただければと思う。

(事務局) 意見を踏まえながら、料金の在り方を検討させていただきたい。

(委員) ニュースで水道に関心を持っていただいたことが大きいと思う。塩竈の水道あるいは塩竈市全体の改善点などあれば、意見を言っていただきたい。

(委員) 浄水場の共同化で仙台市との浄水処理に違いがあった場合どのようにすり合わせをするのか

(事務局) 方式の議論にはまだ至っていないが何が最善な方法かこれからお互い話し合いながら決めていくことになる。

(委員) 水道は水源の水質がとても大事である。今は浄水の技術が発達し、元々の水源が汚くてもエネルギー・お金をかければ、飲めるおいしい水を作ることはできる。私の理想は水源がきれい、簡単な浄水処理で十分であれば費用もかからない。今後、浄水場を共同でつくるということで、水源は仙台にあるが、塩竈市民の皆さんも一緒に水源を守るということを考えていただきたい。保全活動に参加していただくなどがあると非常によいと思う。

(委員) 現在、しおがまの水をおいしくいただいているが、共同化した場合はおいしくなくなるのではないかと懸念がありその検討もお願いしたい。

#### 4. その他

第4回検討委員会は11月9日を予定とする。

市制施行80周年記念の水道標語の選考を委員会後に行った。